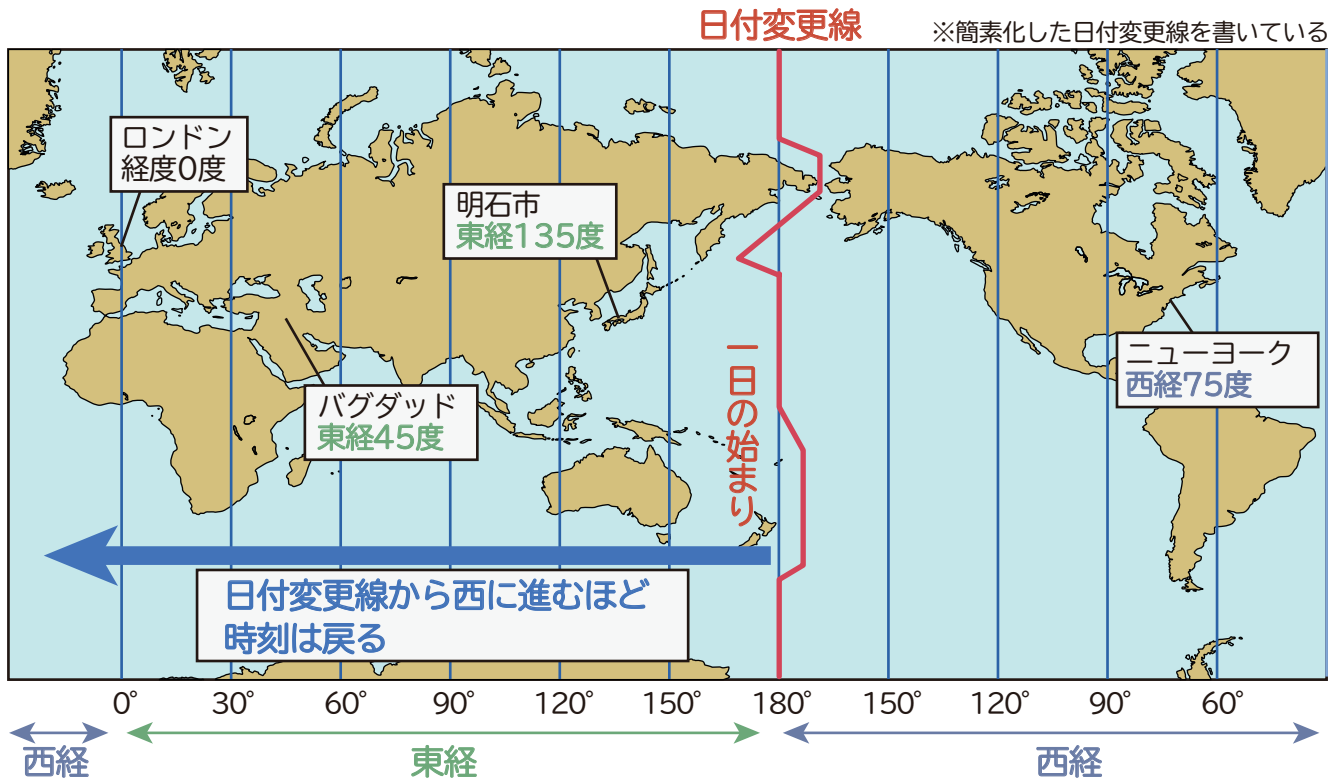


時差や日時の求め方

世界の2つの地点の時差は、経度の差から求めることができる。

1日は日付変更線から始まり、日付変更線から西に進むほど、時刻は戻ることになる。



【時差と日時の求め方】

1. 2つの地点の経度の差を求める。
2. 経度の差を15で割ると、時差を求める。
3. 日付変更線より西に行く場合は時刻を戻し、東に行く場合は時刻を進める。

※経度の差を求めるときの注意・・・2つの地点が東経同士や西経同士の場合は経度差は引き算になり、東経と西経に分かれている場合は足し算になる。

例1：明石市とバグダッドの時差

$$\text{経度の差: } 135(\text{度}) - 45(\text{度}) = 90(\text{度})$$

$$\text{時差: } 90(\text{度}) \div 15 = 6\text{時間の時差} \quad \cdots \text{バグダッドの時刻は、明石市の6時間前}$$

例2：明石市とニューヨークの時差

$$\text{経度の差: } 135(\text{度}) + 75(\text{度}) = 210(\text{度})$$

$$\text{時差: } 210(\text{度}) \div 15 = 14\text{時間の時差} \quad \cdots \text{ニューヨークの時刻は、明石市の14時間前}$$